

第9学年 社会科

I・授業を受けるうえで

- 1・休憩時間に授業の準備を行います。
- 2・授業に関係のない話はしない。発言は先生の指示があってからにします。
- 3・筆記用具はシャープペン（鉛筆）・消しゴム・赤ペン・マーカーペンは最低限そろえておきます。
- 4・宿題は、必ず期日内に提出します。
- 5・忘れ物はしない。忘れた場合は先生に報告します。
- 6・先生が説明しているとき、誰かが発表しているときは、そちらを向いて聞くことに集中します。
- 7・板書は、必ずノート・プリントに書き写します。

II・ノートの作り方・取り方

- 1・大切なところは赤で書きます。重要点が一目でわかり、定期試験等でノートを活用しやすくなります。
- 2・余裕のある人は、板書を写し取るだけでなく、先生の説明や、疑問に思ったことなどを余白に書き込むと、学習効果が上がります。
- 3・ノート・プリントは各学期末にチェックを行い評価の対象にします。しっかりと整理しておくようにします。

III・家庭学習について

- 1・授業のあった日は、ノートに赤で書かれた（あるいは教科書にマーカーペンを引いた）ところを中心に内容を復習します。疑問はそのままにせず、質問し解決します。また、副教材の問題集を解きなおすのも学習効果アップにつながります。
- 2・TVのニュース番組・新聞（ネット上にあるものでもよい）・地図帳・歴史の本（漫画でも可）等も社会科の勉強になります。

IV・学習の評価について

評価は次の3観点です。授業で行ったすべてが評価対象になります。

- 「知識・技能」・・・定期考査（「知識・技能」の部分）・小テスト・ノート・「積み上げ」テストなど
「思考・判断・表現」・・・定期考査（「思考・判断・表現」の部分）・ノートのまとめの部分・授業中の発言・発表など
「主体的に学習に取り組む態度」・・・宿題（自主的なものも含む）・授業態度・授業中の発表・小テストなど

V・その他

物事を理解する基礎は読解力です。読み、書く行為をおろそかにしないようにしましょう。